

□ 要請番号 (JL51525B32)

募集終了



国名	職種コード 職種	年齢制限	活動形態	区分	派遣期間	派遣隊次
ケニア	G182 小学校教育		個別	新規	2年	・2026/2・2026/3・2027/1



【配属機関概要】

1) 受入省庁名（日本語）

教育省

2) 配属機関名（日本語）

セントマリー小・中学校

3) 任地（ナイロビ郡ナイロビ）JICA事務所の所在地（ナイロビ）

任地からJICA事務所までの交通手段、所要時間（車で約0.5時間）

4) 配属機関の規模・事業内容

配属先はナイロビ郡内にある男女共学の公立小・中学校(9年制、日本の小学校1年生～中学3年生相当)である。教員数は約20名、生徒数は約900名。生徒は自宅から通学しており、1時間以上歩いて通学する生徒も多い。約7割の生徒がスラム地域の出身であり、その約半数はアフリカ最大といわれるキベラスラム出身である。そのせいか、地域では学力が低いとされている学校である。1クラス40～50名程度で1日8コマ、小学生は1コマ35分、中学生は1コマ40分で時間割が組まれている。授業後は、スポーツや数学クラブなどの課外活動の時間が設けられている。

【要請概要】

1) 要請理由・背景

2025年より、8-4年制であった初等・中等教育課程が日本と同様の6-3-3年制へと本格的に移行された。これに伴い新しいカリキュラムが導入され、生徒主体の教授方法やICTを活用した授業が推奨された。しかしながら、教員はその様な教授方法に不慣れであり、特に数学と理科において生徒の興味・関心を向上させ学力を伸ばす為の支援を必要としている。また、使用できる機材は少ないながらも、生徒のデジタルリテラシーを向上させる事のできる教員を求めていている。これらの理由から、JICA海外協力隊の要請に至った。配属先の近郊にはJICAの支援で設立されたアフリカ理数科・技術教育センター(CEMASTEA)があり、校長からは連携による生徒の学習機会の拡充が期待されている。

2) 予定されている活動内容（以下を踏まえ、隊員の経験をもとに関係者と協議して計画を立て、柔軟に内容を変更しながら活動を進めます）

校長、教員と相談の上、以下の活動を行う。

- 1.一人の教員として、主に小学4年生以上の生徒に対して数学と理科の授業を行う。
- 2.授業後に行われる課外活動の運営に参画する。
- 3.CEMASTEAなど他の機関とも連携し、生徒たちの学習機会の拡充を図る。
- 4.可能な範囲において、ICTに関する授業を担当する。

3) 隊員が使用する機材の機種名・型式、設備等

タブレット端末10台(Windows)、ラップトップPC3台(Windows)、デスクトップPC台(Windows)、プロジェクター1台、教室、黒板、チョーク

4) 配属先同僚及び活動対象者

配属先同僚:

- ・校長(50代女性)
- ・教頭(40代女性)

教員20名

活動対象者:

- ・小学校1年生～中学3年生

5) 活動使用言語

英語

6) 生活使用言語

スワヒリ語

7) 選考指定言語

英語(レベル:B)

【資格条件等】

[免許/資格等]：（小学校教諭）

[学歴]：（大卒） 備考：同僚の学歴に合わせるため

[性別]：（ ） 備考：

[経験]：（指導経験）2年以上 備考：授業を行うため

[参考情報]：

- ・ICTに関する知識があると望ましい

任地での乗物利用の必要性

不要

【地域概況】

[気候]：（サバナ気候） 気温：（10～25°C位）

[電気]：（安定）

[通信]：（インターネット可 電話可）

[水源]：（安定）

【特記事項】

【類似職種】